

## 2025年度入試の変更点

# 算数



数学科 新野哲也

1

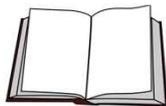
## 入試ではかりたい力

- ・ 問題の意図を正確に読み取る(受信力)  
自分の考え方を分かりやすく伝える  
(発信力)
- ・ 最後まで正確に解ききる力

2

## 出題形式の変更

- ・ 前半は小問集合  
(採点対象は解答のみ)
- ・ 後半は記述式  
(途中過程、部分点あり)



3

## 変更理由

### 受験生の現状

- ・ 少し手を付けて次の問題に進むなど、解答までたどりついていない答案がある
- ・ 過去問で一生懸命に対策をすることで、逆に、少し出題形式が変わると、得点率が下がる

4

## 問題の構成(今までと同じ)

- ・ 計算問題
- ・ 代数の定番(人数、お金、個数など)
- ・ 速さと時間
- ・ 図形 平面図形(角度、線分の長さ、面積)  
立体図形(表面積、体積)  
点の移動
- ・ 場合の数、演算記号、数の規則性
- ・ グラフの読み取り、グラフの利用

★ 全体の問題数は少し増えます

5

## 問題

① 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の計算をしなさい。

$$3\frac{4}{5} + \left(\frac{4}{3} - 0.6\right) \div 2.75 \times \left(3\frac{1}{2} - \frac{1}{6}\right) \times 5.25$$

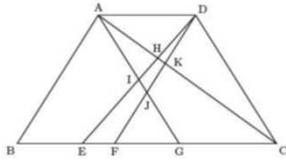
(2) 整数Xを50で割り、小数第2位を四捨五入すると10.3になります。  
このような整数Xのうち、3の倍数であるものをすべて求めなさい。

(3) 1000から2020までの4けたの整数のうち、各位の数字がすべて異なる整数の個数を求めなさい。

6

## 問題

- ② 図のような台形ABCDがあります。BE : EF : FG : GC = 2 : 1 : 2 : 3です。また、AGとDCは平行です。



- (1) AH : HK : KC を、最も簡単な整数の比で表しなさい。  
(2) 台形ABCDの面積を1とすると、三角形AIHの面積は  であるから、  
台形ABCDの面積が $15 \text{ cm}^2$ のとき、四角形HIJKの面積は   $\text{cm}^2$ である。  
、 にあてはまる数を答えなさい。

7

## 合格するために

- ・算数のすべての単元を広く学習する
- ・解答だけを求められる問題でも普段から、  
図を描いて解くなど、自分の考えた道筋が  
相手に伝わるように、ノートに解く習慣を  
つける

8